別紙様式１

２０２３年度公募発出小規模計画の提案書

２０２４年　　　月　　　日

1. 申請概要

|  |  |
| --- | --- |
| 研究計画名 |  |
| 研究計画代表者 |  | 所属 |  |
| 代表者連絡先 | ＴＥＬ： | メール |  |
| 研究計画分担者（所属） |  |
| 計画概要*目的，実施内容，スケジュールなどがわかるように簡潔に記述してください。* |
| 必要な経費概要 | ＪＡＸＡ／ＩＳＡＳ要求資金（百万円） | 外部資金等（百万円） |
| ２０２４年度 |  |  |
| ２０２５年度 |  |  |
| ２０２６年度 |  |  |
| ２０２７年度 |  |  |
| ２０２８年度 |  |  |
| 総額 |  |  |

（注）下線付き斜字表記の部分は，提案書に記入方法や記入していただきたい内容を補足するために記載されています。提出前に削除して，ＰＤＦに変換して提出願います。

1. 目的

*大きな科学目的の中で，提案ミッションが何を達成するのかを明確にすること。また，その価値が高いことがわかるように，特に以下の観点について，目次に従って記述してください。*

1. *科学目的が明確かつ適切に設定されているか。*
2. *科学的意義・価値が高いか。*
3. *当該研究分野の長期計画の中に適切に位置づけられているか。*
4. *親プロジェクトに部分参加する場合，参加する意義・価値が明確かつ高いか。*
5. *「サイエンス／コスト」の観点で価値が十分に高いか。*
	1. 本計画がめざす大きな科学（理学または工学）目標
	2. 大きな科学目標の中での本計画が達成する科学目的とその意義
	3. 大きな科学目標の中での本計画の科学目的を設定する根拠
	4. 親プロジェクトに参加する意義と価値

*より大きなプロジェクトの一部を担う場合に，その親プロジェクトに参加する意義と価値を記入ください。該当しない場合は，該当なし，と記入してください。*

* 1. 当該分野の中での大きな科学目標と達成する目的の位置付け
1. 「小規模計画」として実施することの適切性

*「宇宙科学研究所が果たすべき大学共同利用の機能」に照らして，提案する研究に宇宙科学研究所が研究資金を支援することが適切であることを説明してください。*

*「宇宙科学研究所が果たすべき大学共同利用の機能」の定義は，本文書２ページの「１．１．公募するミッションの要件」（１）を参照してください。*

1. 概念検討結果

*概念検討によって本計画の実現性が示されていること，がわかるように記述してください。*

* 1. 本研究で開発する装置等の概要

*装置等の中には搭載ハードウエア，ソフトウエアだけでなく地上装置や地上ソフトウエアなども含む場合があります。*

* 1. 目的を達成のためにその装置等を開発する根拠
	2. これまでの研究開発の準備状況
	3. 本研究で開発する装置等の不確定要素と開発のリスク
1. 実施計画

*実施計画，実施体制，予算計画，国際協力（ある場合）について記述してください。*

*他の予算については，獲得(予定)の総額と本研究提案に割り当てる内数を明記してください。*

* 1. 実施計画（設計・開発・検証・運用，スケジュール等）
	2. 実施体制
	3. 予算計画
		1. 予算の年度計画
		2. リスク経費とマージンの考え方
		3. 他の予算の獲得状況，申請予定，獲得または申請の総額と本研究提案に割り当てる内数，獲得できなかった場合の対処方法
	4. 国際協力とその調整状況と相手方のステータス

*国際協力がない場合は該当なしと記入してください。*